

1. 開催年月日 平成 25 年 1 月 24 日 (金) 13 時 30 分～15 時 30 分
2. 開催場所 岐阜県可児市広見七丁目 90 番地
株式会社ケーブルテレビ可児 3 階 会議室
3. 出席委員数 7 名 (欠席 1 名)
4. 事業者側出席数 4 名
5. 議題 1. 新番組、新コーナーについて
2. 通常番組について

1. 新番組、新コーナーについて

3 つの番組について試聴し、審議した。

<新番組>

毎週土曜日 15:00～16:00 放送 「学園ラジオ」

- ・ 1/11 放送 企画・構成・出演：東濃高等学校生徒会 (御嵩ミーモスタジオ)
- ・ 1/18 放送 企画・構成・出演：可児工業高等学校 放送部 (本社Aスタジオ)

- ・何を伝えたいのかが分かりにくいので、どこかに焦点を当てた内容にすると良い。
- ・OBの反応が期待できるので、もっと生放送であることを訴えると良い。
- ・高校生自身が取材した内容がもっとあると、外部との関わりが発生してより可能性が広がると思う。
- ・この地区の高校生層への良いアピールになる。
- ・両校とも歯切れがよく、メリハリのある言葉遣いで、ラジオを通した聴きやすさとして問題なく良かった。企画・構成を一から任せられた状況下で、広がりはありませんが生き生きとした姿が伝わってきた。余裕も感じられ、期待できる予感の出だしだった。
- ・さらにも有効な企画で、発展性があると思った。エリアの高校生すべてがリスナーになり、出演者が競い合うような工夫をして、盛り上げていくのが良い。
- ・放送内容をしっかり構成していかないと、パーソナリティがただ学生になっただけでコンセプトがよくわからない。
- ・放送時間にリスナーがいるか疑問。
- ・全体において、若さがいいと思う。しっかりと話しているので、学校でも優秀な子だと思う。若者の普段の素顔が見える番組だと思う。

<新番組>

毎週水曜日 15:00～15:30 放送 「ららサポラジオマガジン」

- ・ 1/22 放送 ナビゲーター：野田三代
出演：マウスネット(株) 代表取締役 阿部幸夫、地元アイドル P-LOCO

- ・番組の終わりにスポンサーCMを放送してはどうか。冒頭での協賛店読み上げは退屈に感じる。
- ・インタビューでは伝えたいことを事前により明確にして、即興的にならないように。

<新コーナー>

毎週金曜日 17:00~17:20 放送 「キラキラキラキラ輝いて」

・1/17 放送 パーソナリティ：北尾 Kinny

出演：広陵中学校 二年生生徒

- ・ラジオを知らない世代が出演し、あわせて親御さんにもリスナーとして関わってもらいたい。体験を通して放送に興味を持ってもらうことで、将来ラジオに携わりたいという子が出てくることも期待している。
- ・行政としても、小中高校生の番組出演はぜひやっていただきたい。子どもを生かすことで親への影響も期待している。新規開拓のすそ野を広げるのにはとても良い。
- ・放送をロコミで広げる手段として、SNS など他メディアを活用するとよい。本放送は特定の層しか聞かないかもしれないが、集中して聴いてもらうという切口もあると思う。そのようにして、皆が関われるようになることを。

以上の意見が出された。

2. 通常番組について

通常放送番組について、自由意見を募った。

- ・1月放送のモーニングラインで、パーソナリティが「曲名を忘れてしまった」と言ったまま確認とお詫びのないまま終わってしまった時があり、軽すぎる言い方と対応の印象が良くなかった。
- ・他の番組も、女性パーソナリティのため口や友達感覚のしゃべり方は聴いていて気になる。
- ・道路交通情報など生活情報の速報があると良い。
- ・1/12 放送 昭和村ハーフマラソン生中継、後半を聞いていた。色々な人が登場し、聴きやすい内容で大成功だったと思う。
- ・同番組内で交通情報を期待していたが、二元中継になったときの音声为重なり合った場所が多々あり、スタッフも気付かない様子で気になった。長い放送時間の中でリスナーの役に立つ情報が流せたらもっとよかった。

以上の意見が出された。